



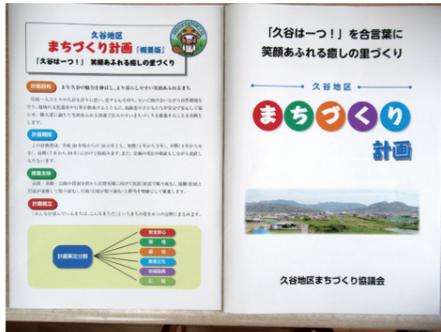
まちづくり通信 くたに

第3号
平成30年7月1日発行
久谷地区まちづくり協議会
発行責任者／相原 忠

まちづくり計画を策定!!



計画書を総会で承認



まちづくり計画冊子と概要版

久谷地区まちづくり計画が5月17日に開催された「まちづくり協議会」の総会で承認されました。

この計画は、久谷地区の総合的な将来計画となるもので、住民アンケート等の意見や要望を参考に、まちづくりの専門部会が中心となって話し合い策定したものです。

今年度から10カ年の計画で、短期（1年から3年）、中期（4年から6年）、長期（7年から10年）に分け、役割を自助・共助・公助の役割分担から住民（住民が取り組む）、協働（住民と行政が連携して取り組む）、行政（行政が取り組む）と担当を明確にして推進していきます。

また、必要に応じて実行の検証もしながら見直しも行ないます。



キャッチフレーズは「久谷は一つ!」 笑顔あふれる癒しの里づくり!!

計画のキャッチフレーズは、「『久谷は一つ!』を合言葉に笑顔あふれる癒しの里づくり」で、目標は「より久谷の魅力伸ばし、より暮らしやすい笑顔あふれるまち」です。

みんなが望んでいるまちはこんなまちだ!

安全安心	防災・防犯・交通安全対策の行き届いた安全で安心して暮らせるまちにしよう
環境	久谷の美しい自然環境を守るとともに、農業の活性化を図り住みやすい快適な生活環境を整えよう
福祉	高齢者や子どもたちが生き生きと安全で安心して暮らせる住みやすいまちをつくろう
教育文化	伝統行事や歴史的遺産を子どもたちに継承していくとともに、みんなで次世代の担い手を育てよう
地域振興	地域の特色を活かすとともに、交流の盛んなにぎわいのあるまちにしよう
広報	魅力ある情報をわかりやすく発信するとともに、お互いに情報を共有しよう



計画は、「みんなが望んでいるまちは、こんなまちだ」というまちの姿を、安全安心・環境・福祉・教育文化・地域振興・広報の6つの分野まとめ、大項目・中項目・小項目に分けまとめています。

計画の内容については、概要版を作成し全戸配布します。



救護訓練



まちづくり交流会

名前は「くたポン」

シンボルマークの名前は『くたポン』に決定!!

今年の広報誌第2号でシンボルマークの名前を募集したところ57名の応募がありました。役員会で選考した結果、全会一致で「くたポン」に決定し、同じ名前を付けた6名の方々が受賞し総会で表彰されました。

受賞者は、浅山喜紀さん（東方町）、石川祥さん（大橋町）、木下隆司さん（久谷町）、河野咲音さん（久谷町）、武智愛華さん（恵原町）、松田滯さん（西野町）の6名の方々です。



受賞者のみなさん



今年、久谷は松山市と合併して50年!!

久谷地区は、昭和43年10月25日に松山市と合併し、今年で50年になります。

当時の久谷村は、昭和31年9月30日、旧荏原村と旧坂本村が合併して発足した温泉郡内の一つの村でした。

久谷村が発足した当時は、人口約7,800人、昔から教育熱心な村で昭和35年4月に荏原、坂本両中学校を統合して現在の久谷中学校を開校しました。

昭和38年には全国初の「文教村宣言」をして当時話題になりました。

合併に関わった当時の村長であった水口三郎氏（恵原町）は、「これからの行政は広域行政でなければ思い切ったことはできない。早期の合併が久谷村の将来の発展に役立つ」との思いで合併を推進したそうです。



当時の久谷中学校校舎

◆10月21日に式典を開催予定!

10月21日（日曜日）に市長を向かって50周年の式典と講演会を開催する予定にしています。

当時こんな出来事が!

- ・メキシコオリンピック開幕
- ・川端康成ノーベル文学賞受賞
- ・小笠原諸島日本に復帰
- ・3億円強奪事件
- ・郵便番号制度実施
- ・M7.9の十勝沖地震発生

当時こんな歌が流行った!

- ・ブルー・ライト・ヨコハマ（いしだあゆみ）
- ・伊勢佐木町ブルース（青江三奈）
- ・星影のワルツ（千昌夫）
- ・恋の季節（ピンキーとキラーズ）
- ・小樽のひとよ（鶴岡雅義と東京ロマンチカ）
- ・花の首飾り（ザ・タイガース）

わが町の取り組み

1月21日、上野町一木の田んぼで新年恒例の「どんど焼き」が行なわれました。

この行事は、平成24年に農家の担い手有志（世話役：宍戸厚志氏）が地区の賑わいや活性化を目指し始めたもので今年で7回目となります。

高さ13メートルの青竹を中心に正月飾りやお札を飾りつけ、大宮八幡神宮の神主のご祈祷のあと、地区の役員と子供会の代表が点火、「どんど」をいきおいよく燃やし家内安全と無病息災を祈りました。中心に立てられた青竹が倒れた方向に今年幸運が訪れるといわれています。

「どんど焼き」の間、地区の婦人グループがぜんざいや焼き鳥を参加者に振る舞い行事の継承を誓い合いました。



■上野町一木「どんど焼き」今年で7回目! ■

■「奥久谷ほたる祭り」今年で19回目! ■

恒例の行事となった「奥久谷ほたる祭り」が6月3日（日）午後5時から奥久谷の葛掛五社神社で開催されました。



生演奏に観客酔いしれる

今年も例年並みの千人を超える方々が集まりました。

最初は、奥久谷地区の老若男女が集まるイベントにしようということから始まったそうですが、今では地区の方々に限らず遠方から来ていただけるイベントとなりました。

葛掛五社神社では、司会の藤田晴彦さんの紹介でミュージシャンの方々による生演奏や坊っちゃん劇場からの出演などもあり観客は大盛り上がりでした。



出店もあり大勢の賑わい

出店コーナーも毎年好評で、朝採れトウモロコシ焼きや牛肉の炭焼きなどに行列ができ売り切れるコーナーもありました。

そして、周りが暗くなってくる午後7時半過ぎになると待望の蛍が川沿いに乱舞してくれました。数は昨年の台風の影響ですこし少ないようでしたが、見ていると日頃の疲れがいつぱんに吹き飛びました。

蛍の夜町の外れの賑はへり 蓮行

中野町、津吉町、上野町、恵原町の4町は平成22年に4町の連合として「一魂神輿連合会」を設立し、翌年秋から、荏原小学校で「総練り」と称して神輿のかき比べを開催し今年で8回目となります。



4町神輿勢ぞろい

会員は約130人で、年齢は20歳代から60歳代までと幅広いが平均は45歳ぐらいだそうです。

代表である中野町の安平賢誠氏によると団体を設立したキッカケは、荏原のお祭り好き達が先輩、後輩の仲を通して祭りで再会し、お互い共感し合い荏原を元気ある町にしたいとの思いからだそうです。



仲良くワッショイ

「今後は総練りをもっとアピールし、久谷地区全体の神輿と一緒に集結させ、お祭りを通じて賑わいある町にしたい。

今年もかき夫は張り切っているので、9月30日（日）12時からの総練りを大勢の人に見に来て欲しい」と話しています。

■今年の「総練り」は9月30日、久谷支所前広場で開催! ■

募

集

!!

「あなたの町の身近な話題」について紹介しませんか。

あなたの町の身近な話題（趣味活動やサークル活動外）を久谷の皆さんに紹介したいことがあれば、住所、氏名、電話番号を記入の上、写真を添え300字以内で応募して下さい。ただし、企業等の営業宣伝に利用するのは、ご遠慮下さい。なお、紙面の都合で掲載されない場合もありますので、その場合はお許し願います。

宛先

松山市東方町甲955番地 荏原公民館内 久谷地区まちづくり協議会

※荏原公民館にあるポスト又は事務所に届けて頂いても構いません。